

広報

じよおの 12

No.771
2019.

年末年始も火の用心

(一日消防長イベント

植月保育園ひまわり組)

【関連記事7ページ】

ほろろ!
田舎
エーガン
勝典



勝央工業団地 オープンファクトリー2019



地域の支え合いこそ最大の備え



「見て、触って、体験しよう」をスローガンに、今年も勝央工業団地オープンファクトリーが10月26日、勤労者体育センター及びその周辺で開催されました。これは、役場と委託を受けた株式会社体験ファクトリーが、工業団地を地元の住民に知ってもらおうと機会を創出し、毎年開催しています。

4回目となる今年は、持続可能な世界を実現するために国連が提唱している「SDGs」の「⑧」の浸透を図ることを目的に4つのテーマを設定。出展企業等にもそれぞれの活動を紹介してもらい、持続可能な社会の実現に向けて取り組みを行いました。

会場では、それぞれの企業や各学校・団体がブースを設置。企業紹介の他、さまざまな体験やグルメの販売などで会場は大いに盛り上がりつつありました。また、トラックの荷台を利用したステージではチャリミングハートによるダンスの他、美作高校なぎなた部による演武なども実演されました。

さらに同時開催として、みまの商工会青年部が主催して「はたらくま」の展示も行われました。主催者の本行さん（株式会社体験ファクトリー代表取締役）は、「企業側の積極的な協力もあり、勝央工業団地が地域に広く周知されてきた。地域住民と工業団地とのつながりをさらに太くしていければ」と話していました。

このイベントの参加者は約5,000人でした。
（主催者発表）

- ①多くの企業ブースが出展された勤労者体育館
- ②木材を使用したワークショップ
- ③物販ブースのようす
- ④賑わう屋外ブース
- ⑤企業の製品を体験する来場者
- ⑥マイクドローンの操縦体験
- ⑦はたらくまも大人気
- ⑧工夫を凝らした展示物で遊ぶ子ども
- ⑨オリジナル芳香剤づくりのようす

※SDGsとは、国連サミットで採択された、持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成される国際目標のことです。



豪雨災害想定し、防災訓練

自主防災組織 要支援者の安否確認

「本番」に備える

11月10日、町内一斉に総合防災訓練が実施されました。今回の訓練は、秋雨前線の停滞により、記録的豪雨が予想され、町内全域に「警戒レベル3」（避難開始・高齢者等避難行動開始）が発令されたこと想定で行われました。

まず、町の防災行政無線により警戒レベル3が発令されたことが町内に放送されました。続いて、地域の各自主防災組織が避難行動要支援者名簿を利用し、要支援者の安否確認を実施。必要に応じて避難所への誘導や避難行動を実践しました。

課題、明確に

各地域では、その地域に住む高齢者や避難時に支援が必要な人に対し、いかに早く情報を伝え、素早く安否確認ができるかが課題です。

訓練後に行われた地区の反省会では「安否確認の手順などは確認できたが、課題もあった。今後の改善点として」といった声が出されました。

また、訓練では役場職員による緊急配備も敷かれました。

各担当に分かれた職員は、避難所への物資の供給や避難所の運営手順などを念入りに確認していました。

さらに、第2部として午後から行われた訓練では、消防団による水出し操法訓練の他、津山圏域消防組合によるはしご車を使用した救助訓練が行われました。現場さながらの訓練にあたりは緊張感に包まれていました。

自助、共助

大規模な災害発生時には、消防・警察などの「公助」が十分にいき届かないことが予想されます。そこでは「自分の身は自分で守る」という「自助」や、自主防災組織及び地域住民同士による協力「共助」が欠かせません。普段の生活からこのようなお互いを意識し、いざという時に備える準備が必要です。

町では、この訓練を通して得られた課題や改善点などを今後の防災行政に反映させていきます。

町の未来を考える

— 勝央中学校模擬議会、模擬投票体験 —



10月28日、勝央中学校の3年生が社会科の事業の一環で、一日議員となって町制に提言する「模擬議会」と選挙について学ぶ「模擬投票」を行いました。

【勝央中学校をイベントに活用】

- ・敷地を活用して文化祭のようなイベントを開き、町で中学校のPRを行う
- ・イベントでは生徒による屋台や校内の施設を使ったアクティビティ施設、体育館でさまざまなショーを行う

また今回も、実際に議会を進める勝央町議会議員の末菅議長と石浦副議長が参加されました。模擬議会前に末菅議長からは挨拶

◆模擬議会

中学生が各分野で提言し、町に対する熱い思いが感じられました。提言の一部をご紹介します。

【エネルギー問題と商店の活性化】

- ・工業団地に立地する工場の屋上に太陽光パネルを設置する
- ・ショッピングモールや町産のスイーツを扱うカフェの誘致
- ・工業団地を紹介するサイトの開設

【町の観光アピールについて】

- ・ファーマーズマーケット内に車で乗り入れ可能な「オートキャンプ場」の開設
- ・空き家を古民家風の宿泊地に
- ・近隣自治体と連携した観光PRを実施



が、石浦副議長からは議員の役割（議員定数、定例議会の時期、活動内容など）についての説明が行われ、生徒たちは町政をチエックする議員の役割や活動について学ぶことができました。



◆模擬投票

生徒たちはまず投票について説明を聞いた後、町が抱える課題を基に、①育児支援、②福祉医療、③産業振興の公約を掲げた3候補から1人選出投票を体験しました。投票後は公民館大ホールで行われた開票作業にも立ち会い、最後に実際の開票数を発表するなど本番さながらの雰囲気で行われました。

現在は、18歳から選挙で投票することができ、生徒たちは近い将来投票権を得ることになります。

今回の模擬投票は、生徒たちにとって政治や選挙について関心を持つ機会となりました。

中学生職場体験

自分にとっての仕事とは？

11月13日から15日までの3日間、勝央中学校2年生による職場体験が町内の40の事業所等で行われました。社会のルールやマナーを学び、仕事の楽しさ、大変さを身をもって体験できたのではないのでしょうか。

勝央町役場総務部には、坂元杏海さんと中畝華歩さんが訪れ、広報業務を中心に体験しました。本欄の記事や写真は2人が作成したものです。

広報紙作成

電話

- ・取材の依頼をします。緊張しましたが、うまくアポイントができました。

写真撮影・インタビュー

- ・掲載記事のレイアウトなどを考えながら行いました。

編集

- ・分かりやすさ、読みやすさに気を付けます。

放送業務

放送内容の決定

- ・どんな内容を放送するかまとめます。

発声練習

- ・早口言葉や腹式呼吸での発声練習をしました。

録音

- ・読むスピード、音のつながりなどに注意して発音します。



◆◇ 職場体験の現場にお邪魔しました!! ◇◆

高取保育園

高取保育園では、5名の生徒が園児と楽しく触れ合っていました。この日は朝から青空が広がる中、中学生は園児たちと一緒にかけっこや砂遊びをしていました。大はしゃぎの園児たちに中学生は、保育士という仕事の難しさを感じつつ、楽しそうに遊んでいました。生徒は「みんなで遊んだのが一番楽しかった」「園児が笑ってくれたときにやりがいを感じた」などと話していました。

社会福祉協議会

社会福祉協議会では、2名の生徒が、ファミリー・サポートセンターの活動を体験していました。この日は、畑田地区のコミュニティハウスで網戸はりや障子はりを手伝っていました。ファミサポ会員と地区の方と協力して作業を行っていました。参加した生徒は「作業をていねいにするのが難しかったけど、みんな優しくしてくれて楽しかった」と話していました。

ブーランジェリーミーツ

パンの販売をしているブーランジェリーミーツでは2名の生徒が、お菓子を包装する袋に賞味期限のスタンプを押したり、袋詰めをしたりする体験をしていました。2人とも、真剣な表情で作業に取り組んでいました。2人は「手を切らないように気を付けた」とか「明日のパン作りが楽しみ」と話していました。

中畝さん

3日間の体験を通して、「大きな声であいさつすること」「笑顔を大切にすること」「コミュニケーションをたくさん取ること」を学びました。この体験をきっかけに、ここで学んだことを将来に生かしていきたいと思います。



坂元さん

働くためにはチームワークが大切だと分かりました。放送の原稿は確認してもらったり、分からないことがあれば聞いたりして、1つの業務が成り立っています。チームワークは中学校でも必要なので、これからの生活にも役立たせたいです。

読書の楽しさをみんなに

岡山県読書推進表彰



▲表彰を受けた皆さんと中島 章教育長(勝央図書館長)

岡山県内において、読書の推進や普及に尽力した人や団体に送られる「岡山県読書推進表彰」の表彰式が、10月27日、勝央図書館で行われました。

これは、岡山県読書推進運動協議会が、10年以上にわたり活動を継続している個人や団体の中から受賞者を選出するもので、今年は町内から1個人、2団体が選ばれました。

受賞団体のうち「ブラックシアターきらら」の代表者、間庭貴和子さんは「今年で発足して20年。節目の年に大変うれしい。今後も活動を継続させたい」と話していました。

受賞者は次のとおりです
(個人)「紙芝居おじさん」佐古 導郎さん
(団体)子育てほのぼの、ブラックシアターきらら

上手に踊れたよ

一日消防長行事に出演

11月14日、秋の火災予防週間に合わせた一日消防長のイベントが行われ、植月保育園ひまわり組の園児が歌や踊りを披露しました。

津山圏域消防組合消防本部で行われたイベントには21名の園児が参加、一日消防長の平田菜穂さん(津山市)や消防職員を前に、はっぴ姿や旗を持つての歌や踊りで会場を盛り上げました。

強風の中でしたが、園児たちは日頃から取り組んできた成果を見事に発揮。歓声と大きな拍手が送られていました。

この日は災害を想定した訓練も行われ、消防職員による機敏な活動に園児たちは食い入るように見入っていました。



▲元氣よく踊りを披露する園児たち

▼ユニークな案山子たち



工夫あふれる案山子がずらり

豊久田下ふれあい祭り

11月3日、豊久田下地区の八幡神社周辺を会場に豊久田下ふれあい祭りが開催されました。

これは、昨年まで「案山子祭」として開催していた祭りを地域の収穫祭と合わせて初めて行うもので、町内外から多くの方が来場しました。

祭りでは、世相を反映したユニークなものなど個性豊かな案山子が多く立ち並び、来場者たちを楽しませていました。

また、稲刈りや作州黒枝豆の収穫体験の他、ジャンボカボチャの重さを当てるクイズや地元有志による出店などもあり、訪れた家族連れなどは、体全身で秋を感じられたようでした。

区長の佐々木さんは「この祭りは案山子祭りから換算して8回目となり、地域に根付いてきた。これからも継続していきたい」と話していました。

▼展示のようす(公民館)



半世紀の歴史 次世代へ

11月3日、4日の2日間にわたり、勝央町文化協会と勝央町教育委員会の主催により、勝央町文化祭と生涯学習フェスティバルが開催されました。

文化祭は今年で50回目の節目の年を迎えました。開会式では、土井満恵文化協会会長が「令和時代の始まりに節目の年が重なり感慨深い。半世紀にわたり続けてこられたのは先人たちがあつてのこと。次の100年に向け、次世代へと引き継いでいきたい」と挨拶。

催しは公民館や文化ホールなどを会場に、展示の部と芸能の部に分かれて開催。このうち、公民館には木彫り作品や手芸品、歴史資料などが並びました。

また芸能の部では、特別ゲストとして静岡県小山町

▼役場での実演を終えた福本さん(左)と井上さん(右)



祝! 金賞(文部科学大臣賞)受賞!!

勝間田高校の3年福本麻純さんと2年井上穂乃果さんが10月26日、新潟市で開かれた「第18回全国高校生フラワーアレンジメントコンテスト」に岡山県代表として出場し、勝央町出身の福本さんが見事第一位となる金賞を獲得しました。

2人は今年6月に行われた県大会において全国大会への出場を決めて以来、校内外での練習に取り組んできました。

全国大会直前には勝央町役場を訪れ、大会で発表す

の民謡愛好会や和太鼓組 駿河乃国 鼓太郎が出演。各団体とともに日頃の練習の成果を発表し、会場を盛り上げていました。また、勝間田高校も出演やテント出店、ボランティア等で盛り上げました。

開会式では、令和元年度勝央町文化協会功労賞の表彰も行われました。受賞者をご紹介します。(敬称略)

【文化協会功労賞】

棕井 富士代(勝央音頭保存会)

廣幡 恵子(勝央音頭保存会)

※川柳BOX優秀作品は「勝央文化会報(3月発行)」に掲載します。



▲50回を記念したテープカット

る作品制作の実演も行っていました。

全国大会では、事前に決められたテーマと花材を使用し1時間以内で作品を制作。ユリやカーネーション、ミツマタの枝などをバランス良く配置した作品が出来上がりました。

10月31日には結果報告のため、役場を訪問。全国大会での活躍を報告しました。

福本さんは「全国で自分の作品が認められて嬉しい。フーリストになるという夢に向けて今後も練習に励みたい」と話していました。



▲全国大会での作品と福本さん

個人情報保護のため、
ホームページ上では掲載しておりません。

個人情報保護のため、
ホームページ上では掲載しておりません。



※1月で満1歳になる、お子さんの写真を募集しています。
写真と40字以内のメッセージを添えて12月3日(火)までに勝央町役場総務部へ
送付してください。なお、勝央町に住民登録をしている人に限ります。

スポーツ **Sports** (敬称略)
(成績は、勝央町内関係分のみ掲載)

スポーツの結果

◇第11回ジュニア会長杯秋季大会(4年生以下) 第1回J.A.共済ジュニアカップ軟式野球選手権大会美作予選(10/22 奈義多目的グラウンド)

【Aブロック】
優勝 勝央ホーイズ



◇令和元年岡山県ルーキー野球選手権大会美作地区予選(3年生以下) (10/27 美作北小学校)

【単独の部】
優勝 勝央ホーイズ



◇勝間田ミニバスケットボール交流大会(11/3 勝央勤労者体育センター)

優勝 勝間田ミニバスケットボール少年団



◇第46回中国なぎなた選手権大会(11/3 岡山県総合グランド体育館)

【演技競技】

(高等学校の部)
準優勝 龍門 志歩
青井 千莉
3位 安藤 鈴華
青北 一葉
【試合競技】
(小学校低学年の部)
準優勝 治郎丸美聡

(中学校男子の部)
準優勝 森永 響
優勝 青井 千莉



「成人式」のお知らせ

- 勝央町では、令和元年の成人式を下記のとおり開催します。
- ▶日時 1月12日(日) 10時～
 - ▶場所 勝央文化ホール
※式の終了後、記念撮影をし、11時から公民館大ホールで、新成人の懇親会を予定。
 - ▶対象 平成11年4月2日～平成12年4月1日に生まれた人
※対象の皆さんには案内の往復ハガキが届いていることと思いますが、申込がまだの方は、返信用はがきの投函、または、勝央町教育委員会へお申し込みください。
 - ▶申込・問い合わせ先 勝央町教育委員会 ☎38-1753

ごみ収集のお知らせ

12月30日(月)～1月3日(金)は、ごみ収集をお休みします。振替収集はありませんのでご注意ください。

なお、津山圏域クリーンセンターのごみの持ち込みは、12月31日(火)まで受け付けます。(有料) 1月1日(水)～3日(金)は休業となります。

- ▶問い合わせ先
勝央町役場健康福祉部 ☎38-7102
津山圏域クリーンセンター ☎57-2221

募集

放送大学入学生募集

放送大学では、4月入学生を募集しています。心理学・福祉・経済・歴史・文学・情報・自然科学など、約300の幅広い授業科目があり、1科目から学ぶことができます。

- ▼出願期間
第1回は2月28日まで、第2回は3月17日まで。
- ▼問い合わせ先
放送大学岡山学習センター
☎086125419240

岡山県育英会募集

岡山県育英会では、東京寮への新入寮生を次のとおり募集します。

- ▼応募資格
岡山県内に居住する男子学生で、令和2年4月に東京都及

お知らせ

住宅用火災警報器の設置と適正な維持管理について

皆さんの自宅には、住宅用火災警報器が設置されていますか。

県内では、毎年200件前後の住宅火災が発生しており、30人前後の人が亡くなっています。犠牲になった人の中には、逃げ遅れた人や高齢の人が多くいます。

住宅用火災警報器は、いち早く火災を知らせてくれ、特に火災に気付きにくい就寝時間帯には、逃げ遅れを防いで皆さんの命を守る大きな効果が期待できます。

住宅用火災警報器は、全ての寝室・寝室が2階以上にある場合は階段への設置も必要です。必要な場所への設置をお願いします。

また、すでに設置されている場合は、10年を目安に取り換え

役場への電話・メール

- 総務部 ☎38-3111
soumu @town.shoo.okayama.jp
- 産業建設部
農業・林業・農業委員会 ☎38-3112
sangyou @town.shoo.okayama.jp
- 土木・都市計画 ☎38-3113
kensetsu @town.shoo.okayama.jp

- 税務住民部
税務 ☎38-3114
zeimu @town.shoo.okayama.jp
- 国保 ☎38-3115
iryuu @town.shoo.okayama.jp
- 戸籍・年金 ☎38-3116
choumin @town.shoo.okayama.jp

- 健康福祉部 ☎38-7102
福祉 fukushi @town.shoo.okayama.jp
- 保健・環境 kankyuhoken @town.shoo.okayama.jp

- 上下水道部 ☎38-3117
上水 suidou @town.shoo.okayama.jp
- 下水 gesuidou @town.shoo.okayama.jp

- 出納室 ☎38-1751
suitou @town.shoo.okayama.jp

- 教育委員会 教育振興部
学校教育 ☎38-1752
gakuji @town.shoo.okayama.jp
- 社会教育 ☎38-1753
syakaikyoku @town.shoo.okayama.jp

- 議会事務局 ☎38-1754
gikai@town.shoo.okayama.jp

「NHK海外たすけあい」キャンペーン 寄付金募集

日本赤十字社は、NHK及び厚生文化事業団との共催により、世界各地の紛争や自然災害に苦しむ人々を救う事業に役立てるため、寄付金募金キャンペーンを実施しています。募金箱は勝央町総合保健福祉センターほか、下記の窓口を設置しています。皆さまのあたたかいご協力をよろしくお願い致します。

- ▶募集期間 12月1日(日)～25日(水)
- ▶募金窓口
勝央町総合保健福祉センター
中国銀行 勝間田支店
勝央郵便局
勝英農協 勝央支店
- ▶問い合わせ先
勝央町役場健康福祉部 ☎38-7102

岡山県立北部高等技術専門学校 訓練生募集

びその周辺に所在する大学(夜間部を含む)の第1年次生として入学(または入学志望者)するなどの条件に該当する人

- ▼定員 40人
- ▼寮所在地 東京都港区高輪三丁目14番21号
- ▼申込・問い合わせ先
岡山県教育庁生涯学習課内(公財)岡山県育英会
☎086122617598

- ▼訓練場所 津山勤労者総合福祉センター(津山市勝部20-17)
- ▼募集 12月10日(火)まで
- ▼申込方法 最寄りのハローワークで相談のうえ、応募
- 【募集①】
▼募集訓練科・定員
パソコンワーク初級科 15人
▼対象者 求職中の入
- ▼訓練期間 令和2年1月7日(火)～4月6日(日)
- 【募集②】
▼募集訓練科・定員
1年訓練 (令和2年4月)～令和3年3月

- ▼電気設備科 20人
- ▼木造建築科 10人
- ▼木工科 20人
- ▼6カ月訓練 (令和2年4月～9月)
- ▼エフステリア科 10人
- ▼ケアサービス科 20人
- ▼募集期限 令和2年1月6日(月)
- ▼申込方法 希望訓練科によって異なりますので、北部高等技術専門学校へお問い合わせください。

ましよう。取り換えの際には、より早く火災を知らせてくれる連動型住宅用火災警報器の設置をお勧めします。

- ▼開園時間 午前8時～午後5時 (入園は午後4時45分まで)
- ▼入園料 大人 410円
65歳以上 140円
高校生以下 無料
- ※元日は終日、入園料無料。
- ※イベント開催時間はホームページをご覧ください。
- ▼問い合わせ先
岡山後楽園
☎086127211148

後楽園 初春祭

岡山後楽園のお正月三が日は、恒例の「初春祭」を開催します。

元日は3日は、瑞兆として江戸時代から大切に飼われていた鶴、「タンチョウ」が庭を優雅に散策します。国の特別天然記念物に指定されている美しいタンチョウを間近で見ることができるとは、チャンスです。元日は入園無料、園内では琴や尺八の演奏が行われ、お正月の雲間気の花を添えます。

2日は祝賀狂言、3日は茶会と鼓の演奏会も催されます。ご家族揃って後楽園ならではの正月をどうぞお楽しみください。

- ▼開催期間 令和2年1月1日(水)～初日(金)

農地転用をするときは 農振除外申請を

農振農用地区域(土地改良事業施工地など)農業の振興を図る区域(住宅などを建設する場合は、事前に農振農用地区域から除外し、転用することが必要で、除外申請は6月と12月に受け付けています。

12月の農振除外申請の受け付けを次のとおり行います。なお、農用地区域から除外する場合は、除外の要件を満たしていることが必要です。

- ▼受付期間 12月2日(月)～27日(金)

焚き火PARTY inあば

津山圏域(津山市・鏡野町・勝央町・奈義町・久米南町・美咲町)にお勧めしている若者の交流会を開催します。焚き火を囲みながら、持ち寄った料理をいただき、冬の阿波で楽しい時間を過ごしましょう。

- ▼日時 2月1日(土) 13時～17時
- ▼場所 阿波森林公園
- ▼対象 20～40代の独身男女(津山圏域に在住または在勤の人)
- ▼定員 男女各15人(応募者多数の場合は抽選)
- ▼参加費 1,000円
- ▼締め切り 1月20日(月)
- ▼申込方法など、詳しくはお問い合わせください。
- ▼問い合わせ先 津山市仕事・移住支援室 ☎2413633

国民健康保険・後期高齢者医療の人へ 柔道整復師(整骨院・接骨院)のかかり方

☎ 税務住民部 ☎38-3115

整骨院・接骨院で施術を受けた場合、国民健康保険が使える場合と使えない場合があります。健康保険は、治療を目的としたものであり、次のように国民健康保険の対象にならない場合もありますので、負傷の原因は正確にきちんと伝えましょう。

保険が使える場合

外傷性の骨折、脱臼、打撲及び捻挫等

(いわゆる肉ばなれを含む)

(例) 日常生活やスポーツ中に転んで膝を打ったり、足首をひねったりして、急に痛みがでたとき

※骨折、脱臼については医師の同意が必要です。(応急処置を除く)

保険が使えない場合

(例)

- ・単なる肩こりや筋肉疲労
- ・神経痛、リウマチ、ヘルニアなど慢性的な病気
- ・脳疾患の後遺症などの慢性病
- ・スポーツなどの肉体的疲労からの回復目的
- ・労災保険が適用となる仕事でのケガ

上記「保険が使えない場合」の施術は保険の対象とはなりません。

◎ご注意ください

保険が使えない場合、「国民健康保険が使える」と説明を受け整骨院・接骨院を受診されても、その治療費は、**全額自己負担する必要があります。**

その場合、後日整骨院・接骨院から請求されるか、もしくは保険者である「勝央町」から請求させていただくことになります。

柔道整復師にかかるときは

○負傷原因を正確に伝えましょう。

外傷性の負傷でない場合や、負傷原因が労働災害に該当する場合は国民健康保険は使えません。

また、交通事故の場合は、保険者である「勝央町」へ必ず連絡してください。

○療養費支給申請書の負傷原因、負傷名、日数、金額をよく確認し、必ず自分で署名しましょう。

療養費支給申請書は、負傷名や日数などを確認し、署名か記名押印をしてください。

○病院での治療との重複はできません

保険医療機関(病院、診療所など)で同じ負傷等の治療中は、施術を受けても保険等の対象になりません。

※施術が長期にわたる場合、内科的要因も考えられますので、医師の診断を受けましょう。

○領収書は必ずもらいましょう

領収書の無料発行が義務づけられています。

領収書は医療費控除を受ける際にも必要になりますので大切に保管してください。

皆さんやご家族の方が病気やケガのため被保険者証で診療や施術を受けた場合に、保険者である「勝央町」から医療機関等に支払われる医療費は、皆さんが毎月納めている保険料等によってまかなわれています。病院や整骨院・接骨院は、正しくかかりましょう。

消費税軽減税率電話相談センター

(軽減コールセンター)

0120-205-553

【受付時間】9:00~17:00(土日祝除く。)

消費税の軽減税率制度に関する一般的なご質問やご相談を受け付けています。音声ガイダンスに沿ってお知りになりたい内容の番号を選択してください。

- ・軽減税率が適用される品目が知りたい方 ⇒「1」
- ・帳簿・請求書などの書き方が知りたい方 ⇒「2」
- ・その他軽減税率制度について知りたい方 ⇒「3」

※ 個人事業者のうち、令和元年10月1日から12月31日までの日を含む課税期間で、仕入れ税額ごとに区分することが困難な中小事業者は、令和元年12月31日までに「消費税簡易課税選択届出書」を提出すれば、その期間から簡易課税制度を選択できます。

◆◆◆◆◆ 各種無料相談のお知らせ ◆◆◆◆◆

勝央町や近隣で開催される各種無料相談です。予約等が必要な場合もありますので、詳しくはお問い合わせください。

県内の公立学校で講師として働きますか？

県では、県内の公立学校で臨時採用教員、いわゆる講師として働いていただける人を募集しています。

対象は、必要とする教員免許状をお持ちの方または取得見込みの方で、学校教育法および地方公務員法に定める欠格条項のいずれにも該当しない人です。

大学などで教員免許状を取得し、免許更新をしていない人も、更新講習を受け、免許を更新することによって勤務が可能となります。

勤務先は、県内(岡山市立を除く)の小学校・中学校・高等学校・特別支援学校などです。講師等登録申込書のダウンロードはホームページをご覧ください。

ホームページ: <http://www.pref.okayama.jp/site/16/detail-2521.html>

問い合わせ先: 県教育庁教職員課
086-1226-7915

消費税軽減税率電話相談センター
(軽減コールセンター)
0120-205-553
【受付時間】9:00~17:00(土日祝除く。)

消費税の軽減税率制度に関する一般的なご質問やご相談を受け付けています。音声ガイダンスに沿ってお知りになりたい内容の番号を選択してください。

- ・軽減税率が適用される品目が知りたい方 ⇒「1」
- ・帳簿・請求書などの書き方が知りたい方 ⇒「2」
- ・その他軽減税率制度について知りたい方 ⇒「3」

※ 個人事業者のうち、令和元年10月1日から12月31日までの日を含む課税期間で、仕入れ税額ごとに区分することが困難な中小事業者は、令和元年12月31日までに「消費税簡易課税選択届出書」を提出すれば、その期間から簡易課税制度を選択できます。

年末ジャンボミニ も同時発売

1等・前後賞 **10** 億円

年末ジャンボ

県内での宝くじの売り上げは、公園、学校などの教育施設の充実など、県民のみなさんの身近なところに役立てられています。宝くじは、「県内」でご購入ください。

発売期間 11/20(水)~12/21(土)

お問い合わせ先/岡山県総務部財政課 TEL086-226-7231

相談の種類	内容		予約問い合わせ
	日程	時間	
消費者 ホットライン	「悪質商法による被害」「ある製品を使ってけがをした」などの消費者トラブルに関する相談をお受けする、お近くの消費生活センターや消費生活相談窓口をご案内します。		(局番なしの)188
	原則、毎日(年末年始除く)	※相談窓口により異なります	
消費生活相談 ※要予約	岡山県消費生活センターの専門相談員による、消費生活全般に関する相談		税務住民部 38-3116
	12/24(火)	10:00~15:00	
認知症相談 ※要予約	専門スタッフによる、認知症に関する相談		地域包括支援センター 38-3028
	12/18(水)	13:30~16:00	
結婚相談	結婚に関する相談「マリッジサポート」 当日は空きがあれば予約不要。結婚支援員による仲介も希望可能。 対象:20歳以上50歳未満の独身男女またはその家族		総務部 38-3111
	12/8(日)	13:30~15:30	
司法書士による 無料相談	登記、成年後見、多重債務、境界など法律に関する相談		岡山県司法書士会 津山支部 0868-72-4744
	12/7(土)	10:00~12:00	
12/14(土)	12/14:美作市民センター(美作市栄町35)		

NHK放送受信料(全額・半額)免除対象者について

健康福祉部 ☎38-7102

放送法第64条第2項の規定による放送受信料の免除は、それぞれの要件を満たす人と、その世帯を対象に次のとおり実施しています。

次の要件に該当し、免除を希望する契約者（NHKと放送受信契約をしている方）は、該当の証明書と印かんを持参して総合保健福祉センター窓口へ申請にお越しください。

○全額免除

▶対象

- ・生活保護受給者
- ・中国残留邦人等の支援給付の受給者
- ・ハンセン病療養所の入所者及び親族
- ・身体障害者（身体障害者手帳を所持している人がいる世帯）
- ・知的障害者（療育手帳を所持している人がいる世帯）
- ・精神障害者（精神障害者保健福祉手帳を所持している人がいる世帯）

※身体障害者・知的障害者・精神障害者は、世帯全員が市町村民税非課税であることが要件です。

○半額免除

▶対象

- 次に該当し、住民基本台帳で世帯主である必要があります。
- ・視覚・聴覚障害者（視覚・聴覚障害の身体障害者手帳を所持）
- ・重度の身体障害者（障害等級が1・2級の身体障害者手帳を所持）
- ・重度の知的障害者（重度・最重度の判定を受けた療育手帳を所持）
- ・重度の精神障害者（障害等級が1級の精神障害者保健福祉手帳を所持）
- ・重度の戦傷病者（特別項症から第1款症に相当する戦傷病者手帳を所持）

申請を受け付けます 特定疾患闘病者激励金

健康福祉部 ☎38-7102

特定疾患患者に激励金を支給することにより、患者の精神的・経済的負担の軽減と福祉の増進を図ることを目的として、令和元年度の申請受付を開始します。12月1日時点で、以下①～④のすべての条件を満たす人は、必要なものを揃えて総合保健福祉センター窓口へ申請にお越しください。

※勝央町心身障害者等長期介護者報償金とを併せて受給することはできません。

①令和元年12月1日以前に1年以上、勝央町内に居住している人

②次に掲げるいずれかの人

- ・岡山県特定疾患治療研究事業実施要項により、特定疾患治療研究事業の認定を受け、かつ治療中の人
- ・難病の患者に対する医療等に関する法律第7条第1項に基づく支給認定を受け、かつ治療中の人
- ・岡山県小児慢性特定疾病医療費支給認定実施要領により認定を受け、かつ治療中の児童等の保護者
- ・腎不全などより、人工透析治療を週1回以上受けている人

③前年の町民税所得割が非課税の世帯の人

④申請者及びその世帯員に、町税（使用料・徴収金を含む）の未納がない人

▶支給する激励金の額

年額6万円

▶持参していただく書類等

①印かん

②次のいずれかの証明（証）

- ・特定疾患医療受給者証
- ・特定医療費受給者証
- ・小児慢性特定疾病医療受給者証
- ・特定疾病療養受療証
- ・自立支援（更生）医療受給者証

③金融機関通帳（申請者名義のもの、対象者が未成年の場合は保護者名義）

▶受付期間

令和元年12月2日（月）～6日（金）まで

第71回人権週間

12月4日～10日

みんなで築こう

人権の世紀

～考えよう相手の気持ち

未来へつなげよう 違いを認め合う心～

「世界人権宣言」は、基本的人権及び自由を尊重し確保するために、世界の全ての人々と全ての国々が達成すべき共通の基準として、1948年の第3回国際連合総会において採択され、今年で71周年を迎えます。

国際連合は、世界人権宣言採択を記念して、採択日の12月10日を「人権デー」と定めています。

法務省及び全国人権擁護委員連合会は、関係機関などの協力を得て、「人権デー」を最終日とする1週間を「人権週間」と定め、世界人権宣言の意義を訴えるとともに人権尊重思想の普及高揚に努めてきました。今年も12月4日から10日までを「第71回人権週間」として各種啓発活動を実施します。

特設人権相談所

勝央町では、人権に関する家庭内や隣近所このもめごとなど、身近な問題や悩みな

ごを解決するための一助にしたい。この「人権週間」に合わせ、次のとおり人権擁護委員による特設人権相談所を開設します。

毎日の生活を営んでいるうえで、これは人権問題ではないだろうかと感じたり、法律上どのようなことになるのか分からなくて困ったときは、どんな小さなことでもお気軽にご相談ください。

▼日時
12月5日（木）
10時～15時

▼場所
勝央町役場2階 第3委員会室

▼相談員
人権擁護委員

- ・竹内 健治（下町川）
- ・末管 悦湖（福吉）
- ・板坂 玲（美野）

勝央町縁結び同窓会応援事業 同窓会を開催しませんか？

総務部元気なまち推進室 ☎38-3111

同窓生の親睦と「出会い」「ふるさとへの関心」「Uターン」などの機会を創出するため、町内開催の同窓会の経費の一部を助成しています。

▶対象となる同窓会

次のことに全て該当する事業

- ①町内の同一の学校などの卒業生で、学級、学年、学校単位で開催されるもの
- ②町内の飲食店などで開催されるもの
- ③10人以上の男女混合の出席者で開催されるもので、そのうち独身者が3割以上かつ町内在住者が3割以上出席するもの
- ④出席者が当該年度中に21～40歳を迎えるもの
- ⑤出席者は町が実施するアンケート調査などに協力すること

▶補助金額

出席者×2,000円（上限50,000円）

▶補助対象経費

- ①同窓会の案内文書の作成に係る印刷製本費
- ②同窓会に係る会場使用料及び食糧費

▶申請方法

代表者は、同窓会開催日の14日前までに申請が必要です。





水道の冬支度はお済みですか？

～水道の水漏れにご注意ください～



これから本格的な冬を迎え、水道管にも冬支度が必要となります。水道の水漏れは資源の無駄になるだけでなく、家計の負担にもなります。皆さんは自宅の水道メーターをチェックしたことがありますか。この機会に自宅の水道メーターや水道管を点検してみましょう。

水道管に冬支度を

これから冬を迎え、気温が低い日が続きます。気温が零下4℃以下になると、給水管や水道メーター、蛇口が凍って水が出なくなったり、破裂する事故が多くなります。

凍結に備えて、予め保温材を巻くなどの保温措置を施し、水漏れの点検をこまめに行うようにしましょう。



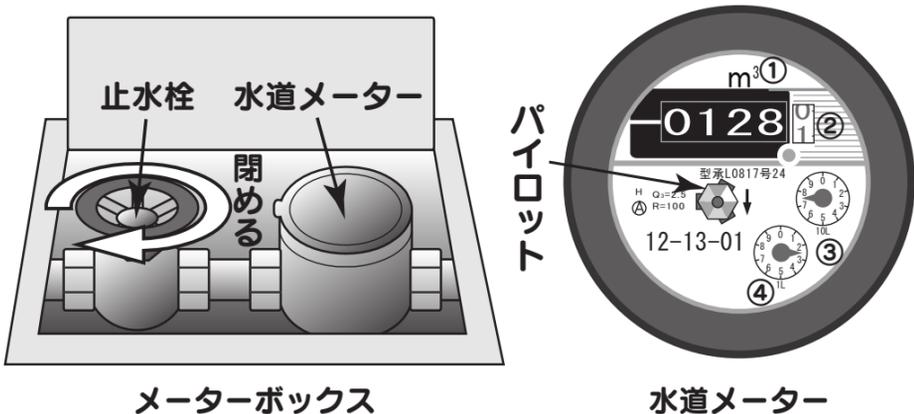
▲メーターボックスにタオルをかぶせた状態

漏水を見つけるには

水道の蛇口を全部閉め、水道メーターの蓋を開けてパイロット（銀色の六角形のもの）を見ます。パイロットが回っていない場合は、メーターより管内では漏水していません。もし、パイロットが回っていたらどこかで漏水している疑いがあります。

水道メーターの見方

- ①この数値を前回指針の数値から差し引いて当期の使用水量を量ります。単位はm³（立方メートル＝1,000ℓ）。
 - ②100ℓ単位を表示
 - ③10ℓ単位を表示
 - ④1ℓ単位を表示
- 下記メーターは、128.072m³となります。また、④を見ることが、おおよめの漏水量を量ることが出来ます。



漏水を見つけた または疑いがあるときは

水道メーターより管内の漏水については、使用者が修理を行ってください。その際は、勝央町指定給水装置工事業者

水が濁るときは

水が赤っぽい水道工事や消防活動、漏水事故などによって、水道管路内に異物と通う流れが起きたときに、一時的に管内の鉄さびが流れ出すことがあります。しばらくの間、飲み水に使用することを避け、水を出し続けることで濁りがなくなります。

●水が白っぽい
水の中に小さな気泡（空気が入ること）が白く見えます。漏水事故の修理後によく発生します。しばらくすると透明に戻りますので、安心してご利用ください。

道路漏水を

見かけたら

道路に埋めてある水道管は、重量車両の走行や地盤沈下、管の老朽化などが原因で漏水することがあります。漏水を放置しておくと、大切な水を無駄にするだけでなく、大きな事故を引き起こす原因にもなりかねません。道路で漏水を見つけたら、勝央町役場上下水道部までお知らせください。

水道メーターの 検針にご協力を

偶数月の20日から月末にかけて、検針員が各戸に水道メーターの検針に行きますので、ご協力をお願いします。

- ・メーターボックスの上のものを置かない
 - ・メーターボックス内はきれいにすく
 - ・犬は入口やメーターボックスから離してください
- ※検針しない位置にある、水や泥が流れ込んでくる、建物内にあるなどの場合は、メーターボックスの移設をお願いします。

水道料金は

口座振替で

□口座振替は、皆さんの預金口座から水道料金を自動的にお支払いいただく方法で、納入期限を忘れず、支払いに行く手間が省けます。

預金通帳、預金印を持参のうえ、次の金融機関でお申し込みください。

- ・中国銀行
- ・津山信用金庫
- ・勝英農協
- ・郵便局

なお、奇数月の25日（休業日の場合は翌営業日）が振替日となりますので、通帳残高にご注意ください。

漏水チェックポイント

- 心当たりがないのに、水道の使用料が増えている。
- 水道管の通っている付近の地面や配管のある壁などが湿っている。
- 水道を使っているのに、蛇口や壁に耳を当てると、シューッと水の流れるような音がする。
- 側溝などにいつもきれいな水が流れている。
- 水洗トイレタンクや自動洗濯機などの水道につながる機器に水漏れはないか。

問い合わせ先

勝央町役場上下水道部
勝央町小矢田45-1
38-3-117 (勝央浄化センター内)

給水装置は自己管理

水道メーターより宅内の給水装置は、使用者の責任で管理しなければなりません。水漏れなどの異常がないか、日頃から点検を行う必要があります。また、長年家を建てる際には、止水栓を閉めておくことをおすすめします。

なお、水漏れ分についても料金請求の対象となりますので、十分にご注意ください。

埋設管漏水による 料金の減額

漏水時には地下埋設管に限らず、料金が減額対象となる場合があります。町指定給水装置工事業者まで修繕された後、施工前後の写真を添付して申請してください。

読んでみんちえ～ 岡山しょうおうチャンネル

byしょうおう志援協会
☎20-1811

(ホームページアドレス <http://shoo-shien.com/>)



【勝央工業団地オープンファクトリー】

10月26日(土)に勝央工業団地オープンファクトリーが開催されました。

勝ブランドは、岡山県立大学と共同開発した新商品『ステーションオーナー』の文房具を初お披露目いたしました。

こども起業塾からは、合宿で自分たちが企画した商品を事業者さんにご協力いただき商品化し、値付けから販売促進の方法など、多くのことを学びました。

当日は、対面での接客やお客さんとの会話も自分たちで考えて対応しました。

早々に商品も完売し、子どもたちは達成感を味わうことができたのではないかと思います。

今年度の活性化事業の一つ『健康ラボ』からは、色が変わる経口補水液を出展し、多くの方に体験していただきました。

ご来場いただきありがとうございました。



県知事との会見の様子



民族舞踊の様子

勝央モンゴル交流協会 連載シリーズ
『モンゴルへの旅』

第3回「ウブールハンガイ県知事との会談」

モンゴル滞在4日目。ゲルでの一夜を過ごした一行は、ぬけるような晴天とともに起床。本日の目的地であるアールハイール市に向け出発します。現地の言葉で「大麦の草原」を意味する同市は、ウブールハンガイ県の県庁所在地で、同国の最も中心的な場所の一つです。人口は約3万人、乗馬スポーツの中心地で、乗馬祭が毎年開催されることになっています。ぬかるんだ道ながらもあつて、現地へは毎週のように到着。全員正装に着替へ、いよいよ県知事との面会に臨みます。

対面式で行われた会談には、現地の報道関係者も同席。会談では、勝央町とウブールハンガイ県との交流を今後継続させ、関係をより深化させていくことを確認しました。その後は、同県の関係者が主催する夕食会が開催されました。民族舞踊や民族楽器の演奏が披露され、会場は大いに盛り上がりつつありました。互いに交流を深め合い、とても充実した滞在4日目となりました。
(勝央モンゴル協会委員 小林)

勝央町介護予防事業

Vol.30

めざせ!いきいき地域活動通信

ふれあいバスでの町内一周ツアー & 意見交換会

11月13日にふれあいバスツアー&意見交換会を開催しました。これは高齢者の外出手段について考えてもらうきっかけとして6月に開催したところ、好評だったため、第2弾として開催したもので、約20名の方に参加していただきました。

今回はふれあいバスのAコースに乗車し、町内北部(植月・古吉野)、続いて南部(高取など)を回り、最後に福祉センターに戻ってから意見交換会を開催しました。

参加者からは「もっと小回りの利く小さい車ならいいのに」「北部からだと帰りが不便」「年間でどれくらい乗っているのを知りたい」「町内でも知らないところを回れてよかった」などさまざまな意見をいただくことができました。

今後も高齢者の外出手段について住民の方と一緒に考えていくために様々な企画を考えていきたいと思っています。



▶問い合わせ先 勝央町社会福祉協議会 (担当: 神田・加藤) ☎38-2160

地域おこし協力隊活動日誌

問い合わせ先
勝央こころざしシェアスペース
☎20-1811



しょうおうサブ

勝央町地域おこし協力隊の活動を毎月お知らせしています。地域おこし協力隊の佐藤です！10月26日「勝央工業団地オープンファクトリー」にて勝央町のお土産品が新発売されました！勝央町の形をした縁起のいい『しょうおうサブ』と、同じく縁起のいい文房具シリーズ『ステーションオーナー』4商品のラインナップです。

『しょうおうサブ』は、「勝岡田高校 食品科学科」有志の高校生さんと「フーラソリエリーミーツ」さんとの商品共同開発で、町内フィートワーク・サブ作り・イラストやポップ作り、当日はブースでの販売も体験していただきました。

『ステーションオーナー』は、「岡山県立大学」デザイン学部の教授・大学生さんと



ステーションオーナー

『しょうおうサブ』は、の商品共同開発で、総社市から何度も足を運んでいただき、1年をかけてたくさん協力者と連携し、ボールペン・メモ・クリアファイル2種の4商品を完成させることができました。

こちらの商品も、商品企画・デザイン、地域への協力要請・商談など、町内外の調整役の地域コーディネーターとして、プロジェクトをサポートさせていただきました。販売場所の確保や商品の安定供給など、課題がまだまだ山積みではありますが、勝央町に定着し、愛されるような特産品開発を引き続き行っていきます！

勝央中学校生徒会だより



「勝央中学校生徒会だより」では、より良い中学校生活へ向けた活動や地域貢献に取り組んでいる勝央中学校生徒会のさまざまな活動を毎月お知らせします。

10月31日に、新生徒会執行部になって初めての生徒総会がありました。とてもスムーズに会を進めることができ、長い時間をかけて打ち合わせをしてきた成果が出せたなと思います。また、あいさつ運動も再開し、生徒会の活動が活発になってきました。地域の皆さまの協力もより一層お願いいたします。

そんな中、生徒会では「なやみ解決プロジェクト」という新しい取り組みを始めました。なぜこの取り組みをしたのかというと、生徒の悩みを少しでも解決し、「心地よい学校」をつくるために始めました。また具体的な内容は決まっていますが、まずは生徒のみなさんがどのような悩みがあるのか聞いてみたいと思います。悩みを全て解決することができればわかりませんが、生徒会ではできるだけ解決していきます。よりよい勝央中学校をつくっていきます。このように新しい取り組みをしていきながらいろいろな運動など、いろいろな方法を見つけ、行っていきます。

今後勝央中学校の活動について理解し協力をお願いいたします。



生徒総会の様子

勝央中学校生徒会本部

ALT Letter Crazy October!

October was a crazy time for me! I was able to go to two Danjiri festivals, Osaka, Kyoto, and Nara. The Danjiri festivals were a lot of fun. I was able to run through the streets of downtown Tsuyama pulling the Danjiri for the cheering crowds.

I was fortunate enough to have one of my friends from America come and visit me in Japan. We met up in Osaka to see Dotonbori and Osaka castle as well as eat Kushikatsu and Takoyaki. After that we went to Nara to see Todaiji temple, the size of it is massive. It was the second time I was able to visit and it was just as awe inspiring as the first time. In Kyoto I was able to try matcha tiramisu it was delicious. I also went to see Fushimi Inari for the first time. I was amazed at how many gates there were, it was much bigger than I imagined. I have had many great adventures in Japan and I plan on having many more. Hopefully I will be able to write about skiing in Hokkaido later this year.

カメラ
Kamuela



僕にとって10月はとても「クレイジー」でした。だんじり祭りへの参加や、大阪、京都、奈良に行けたからです。

だんじり祭りはとても楽しかったです。多くの人で賑わう津山市内をだんじりを引っ張ることができました。

大阪では、アメリカから来た友だちと会うことができました。道頓堀や大阪城に行き、串カツやたこ焼きを食べました!

さらに奈良では東大寺を見学。行くのは2回目でしたが、とても荘厳な印象を受けました。

京都では、抹茶ティラミスを試食したり初めて伏見稲荷大社に行きました。予想以上に大きく、多くの鳥居にとっても驚きました。

今回もとても楽しい旅となりました。これからもっと色んなところへ出かけたいと思います。

次回は年末に行く予定の北海道でのスキーのようすをお伝えできればと思うので楽しみにしておいてくださいね!

勝央文化ホールイベント案内



■宝くじ文化公演 「森山良子コンサートツアー2019~2020 Prime Songs アコースティックバージョン」

【日時】2020年2月2日(日) 15:30開場 16:00開演
【入場料】全席指定()内は当日料金
2,500円(3,000円)
【内容】一般財団法人自治総合センターの助成により「宝くじ文化公演」を実施します。本年度は、森山良子さんをお迎えして、コンサートを開催します。
※この公演の入場料は、宝くじの助成により特別料金になっています。
※チケットは完売いたしました。

■開館15周年記念事業 「勝央金時太鼓コンサート『音の響宴II』【チケット好評発売中!】

【日時】2020年2月16日(日) 13:30開場 14:00開演
【入場料】全席指定()内は当日料金
一般 2,000円(2,500円)
高校生以下 1,000円(1,500円)
【内容】勝央金時太鼓によるマリンバとのコラボレーションコンサート。マリンバと3人の打楽器奏者のために書かれた三木稔氏作曲の「マリンバ・スピリチュアル」をはじめ、マリンバと和太鼓の響きをお楽しみください。



金丸 寛 浜 まゆみ 勝央金時太鼓保存会

■令和元年度かつたっ子フェスティバル

【日時】2020年2月9日(日)
【入場料】無料
【参加費】無料

■町民音楽祭~合唱・邦楽部門~

【日時】2020年2月23日(日)
【入場料】無料
【参加費】無料

■町民音楽祭~フォーク・ロック部門~

【日時】2020年3月8日(日)
【入場料】無料
【参加費】無料

※詳細は、広報紙1月号に掲載予定。
※「令和元年度かつたっ子フェスティバル」「町民音楽祭~合唱・邦楽部門~」の詳細につきましては広報紙12月号のチラシをご覧ください。

チケット販売・問い合わせ先
勝央町教育委員会教育振興部(勝央町公民館) ☎38-1753

※時間は変更になる場合があります。 ※貸館によるイベントについては、主催者にお問い合わせください。



ご寄付ありがとうございました (敬称略)

■町社会福祉協議会へ

- ◇勝間田 妹尾 眞之 (亡父 育三郎)
- ◇勝間田 鳥家 克子 (亡夫 守)
勝間田老人クラブ、勝間田区ふれあいの会にも
- ◇石 生 藤本 信枝 (亡夫 昌)
河原石生老人クラブにも
- ◇植月北 鳥家 太三 (亡父 住夫)
- ◇為 本 片田 明 (亡父 勝市)
高取老人クラブにも
- ◇植月北 三島 弘行 (亡父 強)
- ◇植月中 永田 悦子 (亡母 福田吉野)
- ◇豊久田 佐々木美好 (亡母 好子)
豊久田下老人クラブ、豊久田下地区にも
- ◇岡 武田 誠司 (亡母 青井幸子)
岡老人クラブ、岡ふれあいの会にも

「年金生活者支援給付金制度」が はじまりました。

2019年4月1日時点で老齢・障害・遺族基礎年金を受給している方で、年金生活者支援給付金を受け取る方には、2019年9月上旬から順次、日本年金機構から手続きのご案内をお送りしています。

2019年4月2日以降に老齢・障害・遺族基礎年金の受給を始める方は、年金の裁定請求手続きを行う際に、あわせて年金生活者支援給付金の認定請求の手続きを行ってください。

年金生活者支援給付金を受け取るには、年金生活者支援給付金請求書の提出が必要です。

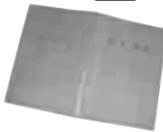
必要事項をご記入の上、早めに返送をお願いします。

年金生活者支援給付金の初回の支払いは2019年12月中旬となります。

▶詳細・問い合わせ先

年金加入者ダイヤル ☎0570-003-004
津山年金事務所 ☎31-2360
勝央町役場税務住民部年金担当 ☎38-3116

国民年金 だより



勝央文化協会だより

勝央短歌会 例会詠草抄

若者はハローウィンにまじりて村の祭りは伝説なる

福田 忍

種まきの丹精したこの茄子の今日初取りの紫や佳し

青井千賀江

峠で逢わんと妹に約し丹精の秋野菜積みて車走らす

板倉 淑子

今こそはわれの出番と一斉に野を灼く彼岸花のインパクトに酔う

岡本三枝子

大形花せしトラックが大丸太軋ませて行けり身の凍るまで

檜尾心菜子

滾る血のすて矢させたわれの身を欲るか一日を軋は離れず

河本 啓子

「断捨離」の半ばに見えて善光達の写真に作業の手が揺る

高山 イト

背伸びして切りし紫苑の露滴を供へて禱りの心よきを持し

寺坂 満

梅十の心ごとを載せし弁当を開き一日には夢があつたり

濱田みや子

外(国)の土産に貰ひし赤き口べに眺めては感ふ九十二歳

國正 鈴子

笑顔の仕掛人⑧

「英語で遊ぼう!」 しようおうキッズ

※社会教育事業のご紹介をするコーナーです。

教育委員会社会教育課では、皆さまに生涯を笑顔でお過ごしただけでなく、皆さまの好きな事業を企画し、運営しています。

今回は、英語で遊ぼう!しようおうキッズについてご紹介します。

今年度で7年目を迎える「英語で遊ぼう!しようおうキッズ」は、近隣市町村のA・L・Tと町内英語講師を中心に、小学1年生から6年生を対象として、年間5回開催しています。

英語に興味を抱かせるところで授業への不安を和らげ、英語を通して外国文化を親子で一緒に学び、改めて日本の文化を見つめ直すことを目的としています。

6月16日の開講式を皮切りに、第2回講座では、夏休み前ということもあり、各国の夏休みについて学び、また世界一周する中で、さまざまな国の英語での呼び方を学びました。



trick or treatラリーのようす

ハロウィンの起源を紙芝居で学び、ハロウィンに関連する単語について学習しました。また、出雲街道沿いのお宅にご協力いただき、trick or treatラリーでは、仮装をした子どもたちが「Trick or treat!」(お菓子をくれないとイタズプするぞー!)と各家庭を訪ね、街道沿いを練り歩きました。

今後はクリスマスもテーマとした内容や開講式を行う予定です。

英語に親しみ、さまざまな国の文化や風習を知り、グローバルな視野を育てて子どもたちの将来が豊かになることを期待しています。

「スポクラ勝央」だより

Vol.20

◆登山サークルの報告◆

10月27日、パワースポットがあるという岡山県赤松市の熊山に、8名で登山しました。展望台からは瀬戸内海や四国も見えて楽しい一日を過ごすことができました。秋の空気をいっぱい吸って皆さん大満足。身体と心に心地よい刺激になりました。皆さんも、私達と一緒に登山してみませんか?

なく柔軟性や腹筋力の低い方が多く、体力の維持や増進に関心を持っていたただけではないかと思えます。

◆クリスマスイルミネーション◆

12月14日(土)
午後6時~午後7時まで
会場
12月14日に勝央町公民館で、イルミネーションの飾り付けと点灯を行います。

ホールではコンサートを午後6時から開催。出演者はフォークソングギター教室の皆さんと春名やさんです。飾り付けは午前9時~12時まで行います。

また、スポーツクラブではこのお手伝いを一緒にしていただけの方をお待ちしております。もちろんお問い合わせも。

▼問い合わせ先

NPO法人
勝央町健康スポーツクラブ
☎38-7123
ホームページ
<https://www.shoo-sports-club.com>



◆オープンファクトリーの報告◆
10月26日、勝央工業団地オープンファクトリーにおいて、スポーツクラブでは『健康ラボ』として体力測定を行い、小学生から80代の方までが参加されました。測定結果をもとに評価しましたが、年齢や運動習慣の有無に関係なく、

有権者となる準備

着々と

勝央中学校



模擬投票のようす

10月28日、3年生は、町議場に移動し、議会体験と模擬投票を行いました。3年後の18歳からは有権者となります。議会体験を行うグループと、模擬投票を行うグループの2班に分かれ、入れ替わりながら体験しました。議会体験では、議長や質問する議員には生徒代表がなり、実際の答弁は、町長が行いました。質問内容は、町の活性化、エネルギー問題、イベント活動による集客などさまざまでした。質問内容

に「なるほご」、そして答弁に「なるほご」と、町の予算を使い活動をすることの難しさを感じました。また、模擬投票では議会の役割を教えていただいた後、立候補者の選挙演説を聞き投票をしました。そして全員で公民館に戻り、開票作業を行いました。開票の結果、なんとびつくり！上位2名の票数が並びました。(同票のときの扱いについても教えていただきました)この取り組みを通して「勝央町の未来」について考えること、「一票の重み」についても考えるきっかけとなりました。

未来の主役たち

プロの技を学ぶ！和菓子の実技講習

勝間田高校



プロの技に釘付け

勝間田高校食品科学科の2年生が、御菓子司板屋さんから専務の福島康人さんをお招きして和菓子づくりの講習を受けました。講習では福島さんが和菓子の練切の実演を披露してください。芸術的なプロの技に生徒たちも目を見張るばかりでした。また、実技講習として本校自家製の味噌を使った「味噌まんじゅう」の作製を指導いただきました。一見簡単に見えるまんじゅう作りですが、実際にやってみるとなかなか上手にあんを包むことができませんでした。

それでも苦労して作っただけに、きれいに出来上がった時の喜びはひとしおでした。

勝間田高校では、他にもチーンソーアートや作州餅などの社会人講師や地元企業や農家等での見学会や実習など地域を活用した特色ある教育を推進しています。地域を学びの場とらえて活用する「勝央タウンキャンパス」として、毎年多くの方々の協力により、地域で活躍する人材の育成に取り組んでいます。

10月28日、3年生は、町議場に移動し、議会体験と模擬投票を行いました。3年後の18歳からは有権者となります。議会体験を行うグループと、模擬投票を行うグループの2班に分かれ、入れ替わりながら体験しました。議会体験では、議長や質問する議員には生徒代表がなり、実際の答弁は、町長が行いました。質問内容は、町の活性化、エネルギー問題、イベント活動による集客などさまざまでした。質問内容

第213号 子育てのポイント

自己肯定感の強い子に育てる

自分自身の存在を長所だけでなく、短所も含めて肯定する気持ちを「自己肯定感」と言います。

「勉強ができるから」とか、「優しいから」とか、「褒められるから」とかではなく、走るが遅くて、泣き虫だって、それでも、いい。『自分には、生きる価値があって自分は愛されている。誰かに必要とされている。』と、思える感情を『自己肯定感』といいます。

自己肯定感の強い子を育てるためには「無条件に愛情を伝える」ということです。

愛情を伝えるには言葉に出すことが大事です。「大好き」「愛してる」「かわいいね」「生まれてきてくれてありがとう」「あなたがいてくれてうれしい」という言葉に包まれて育った子どもは『自分は愛されている』と思えるので自己肯定感が高くなります。

「見つめたり」「微笑みかけたり」「抱きしめたり」「身体を撫でる」等、身体を使って愛情表現をする場合は、言葉は必要ではありません。

自己肯定感の強い子は自分に自信があって何事にも挑戦できる力を持っているのです。

(教育委員会)

勝間田高校では、他にもチーンソーアートや作州餅などの社会人講師や地元企業や農家等での見学会や実習など地域を活用した特色ある教育を推進しています。地域を学びの場とらえて活用する「勝央タウンキャンパス」として、毎年多くの方々の協力により、地域で活躍する人材の育成に取り組んでいます。

令和元年11月1日現在

人口と世帯数

※()内は前月比

人口	11,101人
	(-16)
男	5,338人
女	5,763人
世帯数	4,577世帯
	(-2)



あとがき

▼今年も残りわずかとなりました。皆さんにとってはどのような1年だったでしょうか。何かと慌ただしい年の瀬ですが、皆さんお元気に、そして良いお年をお迎えください。

▼写真は、豊久田の佐々木幸雄さん宅にお目見えした立派な『菊』です！「千輪菊」というそうです。2年ほど前から自宅で栽培し始め、今年11月に見頃を迎えました。佐々木さんによる12月上旬まで楽しめるイベントです。

